



令和4年度

倉敷市小・中・特別支援学校 副校長・教頭会との懇談会

(市P連 事務局)

7月21日(木) 倉敷市小・中・特別支援学校 副校長・教頭会との懇談会を、ライフパーク倉敷 中ホールにて開催しました。

副校長・教頭会より6名の副校長・教頭先生方にご出席いただき、倉敷市PTA連合会の代表7名と約2時間の懇談を行いました。



「PTA活動の意義について」というテーマのもと、副校長・教頭先生から見たPTAの必要性やPTA会費の使い道などについて、3つのグループに分かれそれぞれ協議しました。

常にお忙しくされている副校長・教頭先生ですが、PTA会長がふらりと学校に寄っても、お互い構えずに「そういえば・・・」と気楽に話ができる関係を築きたいと言われていました。そして、学校の運営は教職員だけではありません、保護者の意見を聞き、取り入れることで正常化するので、そういう面でもPTAの存在は学校にとって必要と言われていました。

いろいろと協議していると、PTAのあり方や活動の仕方に、学校によって特徴があり違いがあることが分かりました。PTAも時代の変化に合わせて、柔軟に変化していけばよいのだと感じました。

お忙しい中、懇談会に参加して下さった副校長・教頭先生方、ありがとうございました。